



チームしが 県議団

滋賀県議会議員

田中松太郎

県政レポート

2019年12月 Vol.18

田中松太郎 事務所 甲賀市水口町北脇436-1 TEL.0748-63-5340/FAX.0748-63-5341

田中松太郎 検索

9月定例会議 一般質問

県ホームページ不具合への対応について

3月28日にリニューアル公開された県のホームページですが、公開直後から不具合が相次ぎました。県は復旧作業を進めていたのですが、2カ月後の6月でも不備は残っている状態でした。

そこで6月定例会議の一般質問においてさまざまな指摘をしましたが、不具合の多くは県庁内での作業の遅れに起因するもので、委託業者の作業内容については、仕様書の要求水準を満たしているため問題ないとの答弁ばかりでした。

Q 6月定例会議の一般質問以降、どのような対応をとったのか。

A 知事公室長 6月中は急ぎ対応が必要な点について作業を進め、7月～8月に座談会を開催(県内3か所)しつつ、しがネット受付サービスでも県民からの意見を募集し、総務省の地域情報化アドバイザーの派遣も受けました。寄せられた意見や必要な事項については即時に改善を行いながら、課題整理や方向性の検討を行っています。

Q 座談会等を経て、今回明らかになった問題は何か。

A 知事公室長 ストック情報(各種計画や制度概要、各種申請書の様式等)が、全て時系列で表示されにくいことです。また、スマートフォンで、端末の設定に関わらず小さく表示されることや行間が狭く操作しにくいこと等があります。

Q ウェブアクセシビリティ試験は、いつ実施したのか。

A 知事公室長 3月時点で、対象ページ40ページこのデータを抽出しアクセシビリティ試験を実施した際、一部の項目が不適格となったため、改善を重ね、公開後も検査を継続し、最終的には全て適合検査が完了したのが6月5日です。

Q 3月31日にウェブアクセシビリティ試験結果は出されていたのか。

A 知事公室長 委託業者から試験結果の報告を受けた時点では、対象ページの試験項目(約4万件余り)のうち98.1%が適合、残りの1.9%が不適合という状況でした。

Q 6月5日が検査完了の日ならば、検査証明書に記載されている日付等と矛盾するが。

A 知事公室長 検査証明書の検査実施期間は、昨年度の再構築事業で当初予定していた検査期間を掲載していること、検査日時は検査を

開始した日時を記載したものであるということを確認済みです。

Q 3月31日までに完了しなければならぬ業務が完了していなかったのでは。

A 知事公室長 仕様書に基づき、1.9%の不適合も内容的には一定の水準に達していること判断して、検収を行っています。

Q リニューアルによってデジタルアーカイブが勝手に消されていることへの見解は。

A 知事公室長 過去のものでも公開すべきものもあると思われるので、望ましい公開の仕方について考えていきます。

Q 今回導入されたCMSのライセンス契約はどのようなものになっているのか。

A 知事公室長 昨年度は再構築等業務委託契約、今年度は保守契約に基づき、委託業者から県へ提供するように定められています。このCMSの著作権は徳島県に帰属していますが、現在のライセンス供与の方法や、ライセンスを使用しているCMSの利用、改修には問題がないことを直接確認しています。

Q 企画提案書では、CMSはライセンス費用がかからないオープンソースソフトウェアを使用していると言っているが実態と異なる。

A 知事公室長 CMS本体ではなく、CMSで使用されるソフトウェアが無料であり、ホームページ運営でライセンス費用が増加しないということが記載されていると認識しております。

Q 今後の対応をどのように考えているのか。

A 知事公室長 来年度には、ストック情報等は時系列以外での分りやすい表示に改め、情報の探しやすさを向上させます。スマートフォンでの閲覧・操作の利便性を一層高めるため、ページのデザインをより見やすく、使いやすいものにしていくことを考えています。

Q 今後の改善に向けたロードマップについて。

A 知事 現時点でロードマップを全て示すことはできません。まずは、今年度から来年度にかけて改善をしっかりと行います。庁内で、検討を行う仕組みを整え、専門家の知恵等も借りながら、いただいた様々な課題等も議論を行い、入念に次に向けた準備を進めていきます。

Q 第三者を入れて検証していく必要があると思つたような考えはあるのか。

A 知事 様々な課題等もしっかり受け止めて、改善のために取り組んでいきます。

滋賀県観光キャンペーン「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」



2020年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公・明智光秀ゆかりの滋賀には、戦国時代に活躍した武将たちの足跡が多数残っています。そんな滋賀の史跡や逸話・伝承・人物の魅力を伝えるため、県全体を舞台にした観光キャンペーン「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」が、10月22日に開幕しました。

戦国時代の史跡、逸話・伝承、人物などを絵巻としてパネルなどで紹介する他、滋賀県ご当地キャラクターによるPR。パフォーミング・アート、戦国武将になりきりフォトスポットコーナー、武将隊による勝鬨(かちどき)パフォーマンスなど、期間中、県内で楽しめる魅力あふれるプログラムがいっぱいです。



「びわ湖一周サイクリングルート」に指定!

11月7日、琵琶湖岸等の美しい景観を楽しみながらサイクリングする「びわ湖」が、国土交通省自転車活用推進本部が指定するナショナルサイクリングルート第1号に選ばれました。(しまなみ海道(広島県・愛媛県)、つくば霞ヶ浦りんりんロード(茨城県)と同時指定)

指定を受け、関係者とともにセレモニーを行ったら3日月大造滋賀県知事は、「とても嬉しく光栄に思つた。選ばれた以上、もっともっと世界の方々と初心者など多くの層に楽しんでいただけるサイクリングルートになるよう力を入れていく。安全面や案内面を向上させ、走る方、住んでいる方、社会全体が三方良しのより良いルートになるよう取り組んでいく。」と喜びと決意を語りました。

ナショナルサイクリングルート

自転車を通じて優れた観光資源を有機的に連携するサイクリングルートの推進により、日本における新たな観光価値を創造し、地域の創生を図るため、国の自転車活用推進本部において、今年9月に創設された制度。日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートを国内外へPRするため、魅力的で安全なルートであることなど、一定の要件を満たすサイクリングルートを対象にサイクリングルートが指定されます。

びわ湖

日本一の琵琶湖。周約60kmをサイクリングする「びわ湖」は、湖岸には美しい風景が広がり、ゆっくり走る家族連れからスポーツとして楽しむサイクリングまで、それぞれのペースで快適にサイクリングを楽しむことができるサイクリングコースです。

*詳細は、びわ湖一周サイクリング輪の国びわ湖のページへ。 <https://www.biwakot.jp>



びわ湖は、路面整備や案内看板設置など安全で快適な走行環境が整備されていること、サポートステーションやレンタサイクル拠点などが整備され、サイクリングから家族連れ、海外旅行者などの多様な方が安全に周遊できることが高く評価されました。